各位　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2022.05.15

**西日本日独協会特別企画のご案内**

会員による会員のためのオンライン講義：　チーム「ドイツ」の新刊紹介

特別企画第５弾のご案内です。第１弾「チーム〈ドイツ〉の最前線」、第２弾「近現代ドイツにおける〈女性〉」、第３弾「近代ドイツの〈フォルク〉」、第４弾「映像の中の〈ドイツ〉」に引き続き、今回は新刊紹介を３名の九大教員が行います。チーム〈ドイツ〉による多様な研究成果の核心を分かりやすくお伝えする予定です。なお、今回は土曜日ではなく、水曜日に行うことにしました。多数の参加をお待ちしております。　企画委員長　小黒康正

参加資格　： 西日本日独協会会員、ドイツ語講座受講者、招待者の皆さま

申　込　先： 協会事務局（info@jdg-nishinihon.org）にメールにてお申し込みください。

申込締切日： ６月１６日（木）

視　聴　先： **Zoomを用いて行いますので**、申込者にURLとパスワードをお伝えします。

プログラム：

**■ 第１２回講義　６月２２日（水）１７時から１８時まで  
福元圭太（九州大学）：『アポロン独和辞典第４版』（同学社、2022年3月）**「サッと引く、パッとわかる」でお馴染みの（？）『アポロン独和』第4版が出ました。7年半をかけて大改訂を行なった最新独和の工夫を紹介しながら、言葉について考えたこと、辞書編纂にまつわる苦労譚ないし滑稽譚をお話します。

→ https://www.dogakusha.co.jp/1dokuwajiten.html

**■ 第１３回講義　７月６日（水）１７時から１８時まで**

**武田利勝（九州大学）：フリードリヒ・シュレーゲル『ルツィンデ　他三篇』（武田利勝訳、幻戯書房、2022年1月）**　ドイツ・ロマン派がのこした文学史上最大の問題の書のひとつ、『ルツィンデ』。小説とは何だろう、何が小説なんだろう。こうした厄介な内省の真っ只中へと、読者をいざないます。今回の講義では、今から200年以上も前にこんな「小説」が書かれた背景や、当時の読書界の反応について、ご紹介する予定です。

→ https://note.com/genkishobou/n/n4d7f991c04c3

**■ 第１４回講義　７月２０日（水）１７時から１８時まで**

**小黒康正（九州大学）：ヘルタ・ミュラー『呼び出し』（小黒康正訳、三修社、2022年5月）**　ノーベル賞作家ヘルタ・ミュラーが1997年に出した小説は、現代文学の最先端をいく作品です。今日は自分に出会いたくないという屈折した気持ちを朝から抱く「私」がいます。独裁政権下のルーマニアにいる女性です。平野啓一郎氏の推薦帯文にもご注目！ → https://www.sanshusha.co.jp/np/isbn/9784384059847/

…………………………………　返信用フォーマット　…………………………………

　西日本日独協会事務局 御中

西日本日独協会特別企画を申し込みます。

参加資格：　西日本日独協会会員、ドイツ語講座受講者、招待者

ご芳名　：